



報道機関 各位

記者発表資料

平成29年12月15日（金）

問い合わせ先：経営企画課

担当：森田

電話：714-3185

内線：2202

水道局とラオス国公共事業運輸省との覚書を締結します

さいたま市では、水道局とラオス国公共事業運輸省における水道分野の強化に向けた JICA 事業の実施に係る覚書を締結します。

1 目的

平成30年度から実施される JICA 技術協力プロジェクトフェーズ2 及び JICA 草の根技術協力事業における事業成果の向上を図るため、支援対象地域となるラオス国首都ビエンチャン特別市、ルアンパバン県、カムアン県の水道事業を統括する公共事業運輸省との間で覚書を締結するものです。

2 日時

平成29年12月26日（火）午前中

3 場所

ラオス国ビエンチャン特別市（ラオプラザホテル）

4 参加予定

- (1) 日本国側 さいたま市、独立行政法人国際協力機構（JICA）ラオス事務所
 さいたま市管工事業協同組合
- (2) ラオス国側 公共事業運輸省、ビエンチャン特別市水道公社、ルアンパバン
 県水道公社、カムアン県水道公社

※ 締結後の情報は、12月28日（木）に提供します。

【参考】

○JICA 技術協力プロジェクトフェーズ2について

技術協力プロジェクト（フェーズ1）は、ラオス国の水道公社における中長期的視野に基づいた事業管理能力の強化を目的とするもので、5年間のプロジェクト期間において、施設の拡張及び更新、給水の安定化などの事業改善を図ってきました。

フェーズ2では、これまでのパイロット地域の水道公社を中心とした全国水道公社へのさらなる支援に加え、資金調達や事業認可などの制度的な改善をラオス国に対して働きかけていくなど、さらに踏み込んだ支援を、国内他水道事業体との連携を継続しながら実施していきます。

- ・ 期間（予定）：平成30年4月～平成35年3月（5年間）
- ・ 職員派遣：長期1名／年（通年）、短期2名／年（1～3か月間）
※当市からの派遣
- ・ 研修生受入

○JICA 草の根技術協力事業について

当事業は、ラオス国水道セクターにおける課題解決に向け、草の根レベルの極め細かな支援を行うものであり、配給水管の施工基準及び施工現場の改善や、配給水材料の調査及びデータ分析など、「JICA 技術協力プロジェクト」では対象としていないものの重要課題である現場の改善を実施することで、相乗効果を図っていきます。

3年間の事業期間において、水道局職員を延べ31名派遣するとともに、ラオス国研修生を延べ9名本市で受入れる予定となっています。

- ・ 期間（予定）：平成30年4月～平成33年3月（3年間）
- ・ 職員派遣：9～11名／年（2～3週間）
※調査及びワークショップによる派遣を除く
- ・ 研修生受入：3名／年（2～3週間）
- ・ その他：クロージングワークショップ開催（最終年次）